

「新しい成長」をめざして

～「新経済成長戦略」の策定に当たって～



我が国経済は、産業の空洞化、金融危機、デフレの進行などの難題をようやく克服し、着実な回復軌道にあります。しかしながら、中長期的には、少子高齢化と人口減少、厳しい環境・エネルギー制約、巨額の財政赤字、国際競争の激化など、構造的で早急な対応が迫られる課題を抱えております。特に深刻な問題は、主要先進国の中で初めて継続的に人口が減少する社会に入ったことでもあります。

私は、人口減少下においても、敢えてその逆風をついて国富の増大をもたらす「新しい成長」が可能であると考えております。社会保障制度を持続可能なものとするためにも、財政再建を実現可能なものとするためにも、経済成長が必要であります。何よりも、産業界、国民の皆様が日本経済の将来に自信を取り戻すことが重要であると考えております。

「新経済成長戦略」は、「技術革新」、「生産性向上」、「アジアのダイナミズム」などを梃子として新しい経済の成長を実現するための道筋を示したものであります。製造現場で日々ご苦労されている中小企業の経営者、研究開発を進めておられる研究者や大学関係者、地域の活性化に取り組んでおられる自治体の皆様、さまざまな業種の産業関係者などから生のご意見を伺い、経済財政諮問会議でもご議論いただいたうえ、さらに産業構造審議会においてご審議いただき、この度、とりまとめを行うことができました。関係者の皆様には心から厚く御礼申し上げます。

経済産業省は、全職員が懸命に取り組んでまいりました。今後は、一行たりとも疎かにせず、その実現につとめてまいります。また、本戦略等を踏まえ、「経済成長戦略大綱」を策定し、政府・与党一体の取組みに繋げてまいります。

この「新経済成長戦略」により、改革の向こうに見える明るい日本の未来の姿を国民の皆様にお示しすることが、経済産業省の責務であろうと考えております。

平成18年6月
経済産業大臣

二階俊博